

授業科目名	キャリア教育論
科目番号	CB22081
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB秋AB火6
担当教員	藤田 晃之
授業概要	キャリア教育に先行して実践されてきた職業指導・進路指導の歴史的展開と理論的背景、キャリア教育提唱後の推進施策及び学校における諸実践の特質と課題に関する講義を通して、キャリア教育についての理解を深め、今後の在り方を探る。
備考	実務経験教員 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識 教育学における総合的思考力
授業の到達目標（学修成果）	戦後における職業指導・進路指導関連施策の展開動向とその特質が理解できる。 1999年以降のキャリア教育推進施策の特質と課題が理解できる。 中学校・高等学校におけるキャリア教育実践の特質と課題が理解できる。
授業計画	<p>第1回 イントロダクション：「中学校・高等学校で受けた進路指導・キャリア教育を振り返る」</p> <p>第2回 キャリア教育前史(1)：戦後における職業指導の展開</p> <p>第3回 キャリア教育前史(2)：職業指導から進路指導へ</p> <p>第4回 キャリア教育前史(3)：「偏差値輪切り」型実践の定着とその是正策</p> <p>第5回 キャリア教育の提唱：若年雇用対策としての登場</p> <p>第6回 キャリア教育推進施策の展開(1)：草創期の推進施策の特質</p> <p>第7回 キャリア教育推進施策の展開(2)：推進施策の変容とその背景</p> <p>第8回 キャリア教育推進施策の展開(3)：2011年中教審答申と「基礎的・汎用的能力」</p> <p>第9回 キャリア教育推進施策の展開(4)：今日の推進施策の焦点</p> <p>第10回 小括：職業指導からキャリア教育への展開をめぐるディスカッション(以上、春AB)</p> <p>第11回 キャリア教育実践を支える基礎理論(1)：20世紀アメリカでの理論展開</p> <p>第12回 キャリア教育実践を支える基礎理論(2)：アメリカからの理論移入の功罪</p> <p>第13回 ガイダンスとしてのキャリア教育実践の在り方(1)：中核としての特別活動</p> <p>第14回 ガイダンスとしてのキャリア教育実践の在り方(2)：教科・科目を通じた実践</p> <p>第15回 カウンセリングとしてのキャリア教育実践の在り方(1)：基礎理論の整理</p> <p>第16回 カウンセリングとしてのキャリア教育実践の在り方(2)：教師によるカウンセリングの意義と課題</p> <p>第17回 キャリア教育への批判を読み解く</p> <p>第18回 果たして「キャリア」は「プラン」できるか</p> <p>第19回 キャリア教育とPDCAサイクル</p> <p>第20回 「キャリア教育論」を振り返る：総合的なディスカッション(以上、秋AB)</p>
成績評価方法	<p>期末試験の結果、不定期に求めるミニレポートの内容、授業への参画の程度などを総合的に判断して評価する。</p> <p>(必要な出席回数に達しない場合には、欠席の理由にかかわらず単位は認定しない。)</p>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	

教材・参考文献・配付資料等	授業中に指示する
オフィスアワー等（連絡先含む）	水曜日 午前9時～10時（人間系学系棟 A546）
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	授業中の積極的な発言・質問、ディスカッションへの意欲的な参画を期待します。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	職業指導，進路指導，キャリア教育，キャリア発達，基礎的・汎用的能力